



鋸岳(伊那市)



北岳から間ノ岳(南アルプス市)



トムソーヤキャンプ(静岡市)

南アルプスは生息数が減少している特別天然記念物「ライチョウ」の世界南限の生息地



アツモリソウ保全活動(富士見町)



10市町村・基本合意締結式



真原桜並木と甲斐駒ヶ岳(北杜市)



大鹿歌舞伎(大鹿村)



生態エコツアー(早川町)



甘利山クリーン作戦(韮崎市)



光岩(てかりいわ)(川根本町)

下栗の里(飯田市)

高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性

▼南アルプスとは？

甲斐駒・鳳凰山系、白峰山系、赤石山系からなり、静岡県、山梨県、長野県の3県にまたがって連なる東西約15キロ、南北約50キロの山脈です。山脈の主要部分は、南アルプス国立公園に指定されており、富士山に次ぐ第2位の高峰北岳をはじめ、日本国内の3千級級峰21座のうち9座を有し、日本百名山も10座ある国内屈指の山脈です。

▼ユネスコエコパークとは？

ユネスコが実施するプログラム、「人間と生物圏計画(M A B:Man and the Biosphere)」の一事業で、自然環境や生態系の保全と、持続可能な利活用の調和を目的とした「生物圏保存地域」に認定された地域を指します。日本ではユネスコエコパークと呼ばれ、地域の自然と文化を守りながら地域社会の発展を目指します。

当初は、自然保護区としての意味合いが強かったのですが、



【川根本町における区域】

▽大井川源流部原生自然環境保全地域及び南アルプス南部光岳森林生態系保護地域(保存地区)

②緩衝地域：▽核心地域の周囲又は隣接する地域。▽適切な保護、管理をしながら環境教育、環境学習などにも利用される地域。

【川根本町における区域】

▽南アルプス南部光岳森林生態系保護地域(保全利用地区)

③移行地域：▽地域資源を活かした持続的な観光であるカヌー、トレッキングなどのエ



世界が認めた日本の宝

南アルプスユネスコエコパーク登録決定



6月11日～13日、スウェーデンで開催のユネスコ(国連教育科学文化機関)MAB国際調整理事会において、川根本町を含む3県10市町村が申請した南アルプスが「ユネスコエコパーク」に正式に登録されました。

これまでに5地域(志賀高原、白山、大台ヶ原・大峰山、屋久島、綾)が登録されており、今回の南アルプスと只見の登録によって、国内では7地域となりました。

☞MAB(Man and the Biosphere)とは、「人間と生物圏計画」のこと。

▶構成市町村(南アルプス世界自然遺産登録推進協議会)

静岡県(静岡市、川根本町)

山梨県(南アルプス市、韮崎市、北杜市、早川町)

長野県(伊那市、飯田市、富士見町、大鹿村)



南アルプスエコパークの登録エリア

☞登録面積 ()は川根本町が占める面積

- ▷ 総面積: 302,474[㊦] (49,672[㊦])
- ① 核心地域: 24,970[㊦] (1,841[㊦])
- ② 緩衝地域: 72,389[㊦] (1,102[㊦])
- ③ 移行地域: 205,115[㊦] (46,729[㊦])

1995年、嚴重に保護する「核心地域」、それを取り巻く「緩衝地域」と持続可能な利用を図る「移行地域」を設けることが登録要件の一つとなりました。

▽3つの地域と機能

① 核心地域: 光岳をはじめとする国立公園の特別保護地区など、自然環境を守らなければならない一番大切な地域。

▽3つの機能

- ① 保全機能: 自然を守る
- ② 学術的支援: 科学的な調査支援
- ③ 経済と社会の発展: 自然を利用する

【川根本町における区域】
▽核心地域、緩衝地域を除く川根本町エリアの全域

コッリリズムの利用がなされている地域。▽地域の産業である茶業、林業などの社会活動がなされている地域。